

令和4年度一般会計決算

○決算の概要

高座清掃施設組合（以下「組合」という。）は、海老名市、座間市及び綾瀬市（以下「構成市」という。）から排出される一般廃棄物の中間処理を広域で行うことを目的として設立され、構成市からの分担金が組合運営に充てられています。

処理施設の老朽化に伴い平成25年度に水処理施設（し尿処理施設）、平成30年度にじん芥処理施設（高効率ごみ発電施設、マテリアルリサイクル施設）を更新しました。

更新したじん芥処理施設等の維持管理は、令和元年度から20年間、特別目的会社による維持管理として管理機能を移行しました。

組合と組合周辺環境の調和を目的とする本郷ふれあい公園整備事業につきましては、令和元年度に第一工区を供用開始し、令和4年度は第二工区の用地取得及び外周道路の測量調査を行いました。

令和4年度一般会計決算額は、歳入総額が3,766,406,313円、歳出総額が3,278,702,194円となりました。歳入総額は前年度決算と比較すると7.5%の増額となり、歳出総額は前年度決算と比較すると8.7%の増額となりました。

歳入歳出差引額は497,704,119円となり、翌年度へ繰り越すべき財源を控除した実質収支額は487,841,211円となりました。

（単位：円）

	令和4年度 (a)	令和3年度 (b)	年度比較 (a) - (b)	対前年度 伸率
歳入総額 (A)	3,776,406,313	3,511,753,767	264,652,546	7.5%
歳出総額 (B)	3,278,702,194	3,016,837,242	261,864,952	8.7%
差引額 (A) - (B) (C)	497,704,119	494,916,525	2,787,594	0.6%
翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	9,962,908	39,787,000	△ 29,824,092	△ 75.0%
実質収支 (C) - (D) (E)	487,741,211	455,129,525	32,611,686	7.2%
単年度収支 (F)	32,611,686	198,757,220	△ 166,145,534	△ 83.6%
繰上償還額 (G)	0	0	0	—
実質単年度収支 (F) + (G)	32,611,686	198,757,220	△ 166,145,534	△ 83.6%

○歳入決算概要

歳入決算額3,776,406,313円は、対令和3年度（以下「対前年度」という。）264,652,546円（7.5%）の増額となりました。

分担金2,474,239,000円は、対前年度196,341,000円（8.6%）の増額となりました。主な理由として、運営費分担金は、人件費の減少、海老名市への交付金の減少、事業系処理手数料の増加等により対前年度205,627,000円（12.5%）の減額、建設費分担金は、じん芥処理施設等建設事業に伴い平成30年度に借り入れた組合債の元金償還開始により対前年度408,247,000円（68.9%）の増額、周辺環境整備費分担金は、本郷ふれあい公園（第二工区）整備事業における用地買収面積の減少により対前年度6,279,000円（16.6%）の減額となりました。

使用料及び手数料427,268,956円は、事業系可燃物搬入量の増加により対前年度13,161,730円（3.2%）の増額となりました。

国庫支出金124,328,000円は、本郷ふれあい公園（第二工区）整備事業に充てる土木費国庫補助金（厚木飛行場周辺公園設置補助金）、第二清掃処理場等解体撤去工事に係る発注支援業務に充てる交付金（循環型社会形成推進交付金）であり、対前年度15,359,000円（14.1%）の増額となりました。

県支出金39,679,000円は、第二清掃処理場等解体撤去工事に係る発注支援業務、屋外トイレ等設置工事、本郷ふれあい公園（第二工区）整備事業、高座施設組合屋内温水プール外壁等修繕工事に充てる神奈川県町村自治基盤強化総合補助金であり、対前年度14,705,000円（27.0%）の減額となりました。

繰越金494,916,525円は、対前年度180,888,220円（57.6%）の増額となりました。継続費通次繰越額1,815,000円は、一般廃棄物処理基本計画改定等業務、繰越明許費繰越額11,957,000円は、本郷ふれあい公園（第二工区）整備事業、事故繰越繰越額26,015,000円は、水処理施設整備補修によるものです。

諸収入474,832円は、対前年度79,196円（20.0%）の増額となりました。主なものは雇用保険被保険者負担金です。

組合債215,500,000円は、第二清掃処理場等解体撤去工事に係る発注支援業務、屋外トイレ等設置工事、本郷ふれあい公園（第二工区）整備事業、高座施設組合屋内温水プール外壁等修繕工事に充てる特定財源であり、対前年度126,300,000円（37.0%）の減額となりました。

歳入

（単位：円）

款	当初予算額 A	補正等予算額 B	予算現額 A+B	歳入決算額 C	執行率 C/(A+B)
1. 分担金及び負担金	2,474,239,000	0	2,474,239,000	2,474,239,000	100.0%
2. 使用料及び手数料	411,197,000	0	411,197,000	427,268,956	103.9%
3. 国庫支出金	30,630,000	97,131,000	127,761,000	124,328,000	97.3%
4. 県支出金	35,426,000	△ 456,000	34,970,000	39,679,000	113.5%
5. 繰越金	150,000,000	344,916,000	494,916,000	494,916,525	100.0%
6. 諸収入	252,000	0	252,000	474,832	188.4%
8. 組合債	135,700,000	151,800,000	287,500,000	215,500,000	75.0%
歳入合計	3,237,444,000	593,391,000	3,830,835,000	3,776,406,313	98.6%

○歳出決算概要

歳出決算額3,278,702,194円は、対前年度261,864,952円（8.7%）の増額となりました。

議会費1,094,622円は、対前年度8,040円（0.7%）の増額となりました。支出額の主なものは、議員報酬923,022円及び議会議事録作成に伴う反訳事務171,600円です。

総務費395,144,376円は、対前年度30,497,236円（7.2%）の減額となりました。支出額の主なものは総務課職員等の人件費145,412,301円、海老名市への交付金161,955,936円、最終処分場等土地借料34,180,766円、公用車及び電算機器等の賃借料22,290,102円です。

民生費27,057,476円は、対前年度1,043,160円（4.0%）の増額となりました。支出額の主なものは、本郷老人福祉センター指定管理料23,724,000円です。

衛生費1,342,745,797円は、対前年度229,352,579円（14.6%）の減額となりました。

減額の主な要因は、令和3年度の排水処理施設及び粗大ごみ処理施設解体工事が完了したことによるものです。

支出額の主なものは人件費319,174,396円、第二清掃処理場等解体撤去工事に係る発注支援業務24,184,600円、じん芥処理施設等管理運営業務871,502,416円、水処理施設整備補修57,083,400円です。

なお、塵芥処理費の第二清掃処理場解体後の環境整備に伴う測量調査委託として3,916,000円を令和5年度へ繰り越しています。

土木費293,255,212円は、対前年度58,552円（0.1%）の増額となりました。支出額の主なものは、本郷ふれあい公園（第二工区）整備に伴う実施設計業務委託15,801,500円、用地買収費172,183,501円、建物等補償費80,419,210円（本書26ページ参照）です。

なお、本郷ふれあい公園（第二工区）整備に伴う建物補償費として23,946,908円を令和5年度へ繰り越しています。

教育費192,439,216円は、対前年度92,474,140円（92.5%）の増額となりました。増額の主な要因は、屋内温水プール外壁等修繕工事の実施によるものです。

支出額の主なものは、高座施設組合屋内温水プール修繕費18,172,000円、高座施設組合屋内温水プール指定管理料103,346,000円、屋内温水プール外壁修繕工事68,398,000円です。

公債費1,026,965,495円は、対前年度428,130,875円（71.5%）の増額となりました。

増額の主な要因としては、じん芥処理施設等建設事業に伴い平成30年度に借り入れた組合債の元金償還開始によるものです。

歳出

（単位：円）

款	当初予算額 A	補正等予算額 B	予算現額 A+B	歳出決算額 C	執行率 C/(A+B)
1. 議会費	1,156,000	0	1,156,000	1,094,622	94.7%
2. 総務費	398,719,000	5,516,000	404,235,000	395,144,376	97.8%
3. 民生費	28,394,000	0	28,394,000	27,057,476	95.3%
4. 衛生費	1,440,389,000	13,056,000	1,453,445,000	1,342,745,797	92.4%
5. 土木費	104,435,000	250,764,000	355,199,000	293,255,212	82.6%
6. 教育費	206,590,000	0	206,590,000	192,439,216	93.2%
7. 公債費	1,027,761,000	0	1,027,761,000	1,026,965,495	99.9%
8. 予備費	30,000,000	324,055,000	354,055,000	0	0.0%
歳出合計	3,237,444,000	593,391,000	3,830,835,000	3,278,702,194	85.6%

決算収支(過去5年間)

(単位:円)

区分	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
歳入	3,776,406,313	3,511,753,767	3,090,128,258	2,881,435,119	11,504,123,838
1. 分担金及び負担金	2,474,239,000	2,277,898,000	1,681,424,000	1,418,747,000	1,681,270,000
2. 使用料及び手数料	427,268,956	414,107,226	401,697,925	458,961,732	466,327,465
3. 国庫支出金	124,328,000	108,969,000	158,154,000	169,490,000	2,895,325,000
4. 県支出金	39,679,000	54,384,000	35,934,000	17,846,000	300,000,000
5. 繰越金	494,916,525	314,028,305	578,972,383	614,473,189	406,403,234
6. 諸収入	474,832	395,636	592,775	62,017,198	29,898,139
7. 組合債	215,500,000	341,800,000	216,700,000	139,900,000	5,724,900,000
○ 財産収入	0	171,600	16,653,175	0	0
歳出	3,278,702,194	3,016,837,242	2,776,099,953	2,302,462,736	10,889,650,649
1. 人件費	465,509,719	516,240,643	544,179,303	555,789,692	641,704,128
2. 扶助費	3,280,000	3,770,000	4,290,000	4,640,000	4,815,000
3. 公債費	1,026,965,495	598,834,620	324,315,914	144,715,397	73,108,740
4. 普通建設事業費	384,612,959	570,038,036	484,350,758	332,990,845	9,067,623,775
5. 災害復旧事業費	0	0	0	0	0
6. 物件費	1,137,391,492	1,120,210,997	1,149,616,579	1,140,201,130	764,876,712
7. 補助費等	168,100,219	180,124,476	196,229,849	67,844,172	164,819,602
8. 維持補修費	92,842,310	27,618,470	73,117,550	56,281,500	172,702,692

○歳出の性質別考察

1 義務的経費

義務的経費1,495,755,214円は、対前年度376,909,951円(33.7%)の増額となりました。

(1) 人件費

人件費465,509,719円は、対前年度50,730,924円(9.8%)の減額となりました。減額の理由は、職員の減少及び人事院勧告によるものです。

(2) 扶助費

扶助費3,280,000円は、対前年度490,000円(13.0%)の減額となりました。支出内容は、職員に対する児童手当です。

(3) 公債費

公債費1,026,965,495円は、対前年度428,130,875円(71.5%)の増額となりました。増額の理由は、じん芥処理施設等建設事業及び本郷ふれあい公園整備事業に伴い平成30年度に借り入れた地方債の元金償還開始等によるものです。

2 投資的経費

投資的経費384,612,959円は、全て普通建設事業費となり、対前年度185,425,077円(32.5%)の減額となりました。

主なものは、第二清掃処理場等解体撤去工事に係る発注支援業務24,184,600円、屋外トイレ等設置工事8,950,700円、本郷ふれあい公園(第二工区)に係る実施設計業務15,801,500円、用地代172,183,501円、建物等補償費80,419,210円及び屋内温水プール外壁等修繕工事68,398,000円です。

3 その他

(1) 物件費

物件費1,137,391,492円は、対前年度17,180,495円(1.5%)の増額となりました。増額の主な理由は、特別目的会社(SPC)による、じん芥処理施設等管理運営業務及び屋内温水プール指定管理料の増加によるものです。

(2) 補助費等

補助費等168,100,219円は、対前年度12,024,257円(6.7%)の減額となりました。減額の理由は、海老名市への交付金の変動によるものです。

(3) 維持補修費

維持補修費92,842,310円は、対前年度65,223,840円(236.2%)の増額となりました。増額の理由は、水処理施設修繕を令和3年度から繰り越したことによるものです。

○廃棄物等の搬入概要

令和4年度の構成市全体の人口は、令和5年3月1日現在354,720人で、対前年度1,710人(0.5%)の増加となりました。
 令和4年度の構成市からのごみ搬入量68,581.77tは、対前年度1,062.86t(1.5%)の減少となりました。内訳は、家庭系可燃物49,119.12tが、対前年度1,064.39t(2.1%)の減少、事業系可燃物16,937.87tが、対前年度433.92t(2.6%)の増加、不燃物1,039.94tが、対前年度321.48t(23.6%)の減少、粗大ごみ1,484.84tが、対前年度110.91t(7.0%)の減少となりました。
 また、マテリアルリサイクル施設に搬入された不燃物等搬入量(不燃物搬入量と粗大ごみ搬入量の計)2,524.78tの6.2%に相当する157.83tの非鉄金属(アルミニウム等の有価物)及び鉄分(磁性物)が資源化物として回収されました。
 令和4年度の構成市からのし尿搬入量10,507.57tは、対前年度1,591.77t(13.2%)の減少となりました。内訳は、生し尿1,268.91tが、対前年度195.35t(13.3%)の減少、浄化槽汚泥9,238.66tが、対前年度1,396.42t(13.1%)の減少となりました。

◎構成市の人口

区分	令和4年度	令和3年度	増減	伸率
海老名市	139,611人	137,575人	2,036人	1.5%
座間市	131,968人	132,151人	△183人	△0.1%
綾瀬市	83,141人	83,284人	△143人	△0.2%
計	354,720人	353,010人	1,710人	0.5%

◎ごみ搬入状況

区分	令和4年度	令和3年度	増減	伸率
家庭系可燃物	49,119.12t	50,183.51t	△1,064.39t	△2.1%
不燃物	1,039.94t	1,361.42t	△321.48t	△23.6%
粗大ごみ	1,484.84t	1,595.75t	△110.91t	△7.0%
事業系可燃物	16,937.87t	16,503.95t	433.92t	2.6%
計	68,581.77t	69,644.63t	△1,062.86t	△1.5%

◎し尿搬入状況

区分	令和4年度	令和3年度	増減	伸率
生し尿	1,268.91t	1,464.26t	△195.35t	△13.3%
浄化槽汚泥	9,238.66t	10,635.08t	△1,396.42t	△13.1%
計	10,507.57t	12,099.34t	△1,591.77t	△13.2%

○付帯施設の利用概要

付帯施設(余熱利用施設)である本郷老人福祉センター及び屋内温水プールは、平成18年度から指定管理者制度を導入しています。
 現在の指定管理者 FunSpace・オーチュール運営企業体
 指定期間 令和4年4月1日から令和9年3月31日まで
 令和4年度の本郷老人福祉センターの利用者数3,934人は、対前年度3,280人の増加となりました。構成市別の利用状況は、海老名市が2,295人、座間市が491人、綾瀬市が1,148人となりました。
 令和4年度の屋内温水プールの利用者数118,287人は、対前年度22,251人の増加となりました。平成5年度に開館以来の利用者累計は、令和5年3月末日現在で3,740,103人(男性1,914,436人、女性1,825,667人)となりました。

◎本郷老人福祉センター利用状況

		令和4年度		令和3年度		利用者数比較	
		利用者数	利用件数	利用者数	利用件数	増減	伸率
海老名市	男性	1,252人	112件	212人	21件	1,040人	490.6%
	女性	1,043人		149人		894人	600.0%
	計	2,295人		361人		1,934人	535.7%
座間市	男性	187人	21件	50人	4件	137人	274.0%
	女性	304人		58人		246人	424.1%
	計	491人		108人		383人	354.6%
綾瀬市	男性	531人	46件	96人	9件	435人	453.1%
	女性	617人		89人		528人	593.3%
	計	1,148人		185人		963人	520.5%
合計	男性	1,970人	179件	358人	34件	1,612人	450.3%
	女性	1,964人		296人		1,668人	563.5%
	計	3,934人		654人		3,280人	501.5%

◎屋内温水プール利用状況

区分	令和4年度	令和3年度	増減	伸率
男性	63,205人	52,256人	10,949人	21.0%
女性	55,082人	43,780人	11,302人	25.8%
計	118,287人	96,036人	22,251人	23.2%

令和5年度執行状況(令和5年9月30日現在)

歳入 (単位:円)

款	予算現額	収入済額	執行率
1. 分担金及び負担金	2,415,517,000	1,235,809,000	51.2%
2. 使用料及び手数料	406,249,000	178,902,131	44.0%
3. 国庫支出金	279,188,000	0	0.0%
4. 県支出金	59,266,000	0	0.0%
5. 繰越金	259,962,908	497,704,119	191.5%
6. 諸収入	439,000	3,927,713	894.7%
7. 組合債	586,900,000	0	0.0%
歳入合計	4,007,521,908	1,916,342,963	47.8%

歳出 (単位:円)

款	予算現額	支出済額	執行率
1. 議会費	1,156,000	329,469	28.5%
2. 総務費	389,171,000	94,777,630	24.4%
3. 民生費	25,942,000	9,926,577	38.3%
4. 衛生費	2,263,545,000	388,659,254	17.2%
5. 土木費	146,376,908	39,160,726	26.8%
6. 教育費	123,811,000	42,391,934	34.2%
7. 公債費	1,029,134,000	467,624,405	45.4%
8. 予備費	28,386,000	0	0.0%
歳出合計	4,007,521,908	1,042,869,995	26.0%

令和5年度高座清掃施設組合の当初予算は、39億7,965万9千円でしたが、前年度から繰り越された通次繰越額、繰越明許費繰越額等2,786万2,908円を加え、予算現額は40億752万1,908円となりました。

予算現額に対する令和5年9月30日現在の執行状況について、歳入予算は、収入済額19億1,634万2,963円・執行率47.8%、歳出予算は、支出済額10億4,286万9,995円・執行率26.0%となっています。

執行率が低い主な理由について、歳入は、第二清掃処理場等解体撤去工事、(仮称)剪定枝リサイクルセンター整備事業及び本郷ふれあい公園(第二工区)整備事業に充てる特定財源である国県支出金及び組合債等が未収のためです。これらの特定財源は、完了後において、実績報告等の手続きを経て入金される予定です。

歳出は、特定目的会社に委託する、じん芥処理施設等運営・維持管理業務や指定管理者が管理する余熱利用施設(本郷荘及び屋内温水プール)の支払いを分割するためです。

なお、9月末における支出負担行為額は18億3,674万9,607円(執行率は45.8%)です。

財産などの状況(令和5年9月30日現在)

組合債現在高(令和5年9月30日現在) (単位:円)

区分	令和5年3月31日 現在高	令和5年4月1日～令和5年9月30日		令和5年9月30日 現在高
		借入額	元金償還額	
一般廃棄物処理事業債	7,780,619,794	0	386,550,233	7,394,069,561
じん芥処理施設建設事業	7,599,994,797	0	372,834,119	7,227,160,678
水処理施設建設事業	157,091,265	0	12,944,290	144,146,975
構内整備事業	23,533,732	0	771,824	22,761,908
一般補助施設整備等事業債	1,273,002,359	0	58,301,949	1,214,700,410
じん芥処理施設建設事業	1,273,002,359	0	58,301,949	1,214,700,410
公共事業等債	511,035,871	0	6,408,391	504,627,480
公園整備事業	511,035,871	0	6,408,391	504,627,480
一般事業債	471,762,000	0	17,429,500	454,332,500
構内整備事業	200,170,000	0	11,465,000	188,705,000
公園整備事業	228,292,000	0	5,964,500	222,327,500
施設整備事業	43,300,000	0	0	43,300,000
地方道路等整備事業債	15,764,000	0	717,000	15,047,000
構内整備事業	15,764,000	0	717,000	15,047,000
神奈川県市町村振興資金貸付金	871,092,820	0	0	871,092,820
じん芥処理施設建設事業	749,764,145	0	0	749,764,145
公園整備事業	67,019,390	0	0	67,019,390
構内整備事業	46,209,285	0	0	46,209,285
施設整備事業	8,100,000	0	0	8,100,000
計	10,923,276,844	0	469,407,073	10,453,869,771

財産(令和5年9月30日現在) (単位:m²)

区分	土地	建物(延床面積)
清掃処理場	56,908.35	32,394.61
本郷老人福祉センター	2,592.47	779.09
埋立処分地	5,398.71	453.23
本郷ふれあい公園	38,446.75	27.62
計	103,346.28	33,654.55

清掃処理場は、新ごみ処理施設、旧ごみ処理施設、水処理施設、旧事務所(旧車庫及び緩衝緑地帯を含む)、屋内温水プールの土地面積及び建物延床面積を合わせたものです。